

平成30年度 第2回 射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 (議事録)

日時 平成30年10月22日(月)

午後2時30分～3時

会場 射水市役所 2階 201会議室

○議題

(1) 認知症初期集中支援事業の進捗状況と課題について 資料説明(事務局)

【意見交換】

・別紙1の5支援終了者の状況における(3)支援の成果に、地域の支援とあるが、具体的にどのような支援か教えてほしい。

→独居の方については、地域の方が本人宅を訪問し、本人への声かけや見守り支援をしてくださっている。民生委員や近所の方がゴミ出しなど家事支援をしてくださっているケースもある。

・資料1の2ページ目に地域包括支援センターへの認知症に関する相談件数とある。H29年度と今年度半期分を比べた際に、延件数と実人数が半分程度になっていれば実績がそれほど変わらないと思うのだが、実人数がかなり少ないように見える。その原因が分かれば教えてほしい。

→地域包括支援センターで実際に活動していて、相談が減っている印象はない。集計方法の詳細が分からないが、認知症はあるが他の問題がメインとなっているケースについては、認知症としてカウントされていない場合もあるのではないかと思われる。地域からの相談が減ったという印象もないため、明確な原因は分からない。

・認知症初期集中支援チームについては、しっかりゴールを決めたほうがよい。また、医療機関を受診し、治療を継続していることが大切である。その確認をするには、半年から1年程度ケースを追う必要があると思う。福井県では医療機関の受診がチーム支援の終了となっていたが、診断がついたらチームの支援が終了ということではなく、その後を追う必要があるのではないか。

→認知症初期集中支援チームでは支援終了の目標を決め、支援終了から2～3ヶ月後に必ずモニタリングにより、本人の状況を確認することになっている。その結果、必要であれば再度本人に関わることとなる。そのため、モニタリング時に治療継続の有無等についても確認をしていきたい。

平成30年度 第2回射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 次第

日時 平成30年10月22日(月)

午後2時30分～3時

会場 射水市役所 2階 201会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 認知症初期集中支援事業の進捗状況と課題について

(資料1)

3 閉 会

認知症初期集中支援事業の進捗状況と課題（H30.4月～H30.9月末）

1 認知症初期集中支援事業に関する普及啓発

(1) 地域住民への普及啓発

- ・ 広報による普及啓発：5月号特集「認知症とともに暮らそう」
6月～H31年3月までコラム記事掲載
- ・ ケーブルテレビによる普及啓発：偶数月「認知症の初期症状と対応方法について」
- ・ 認知症に関するパネル展示と認知症相談会：7月21日射水市民病院 市民公開講座
- ・ 啓発街頭キャンペーン・認知症予防ミニ講座：7月25日イータウン大島アルビス大島店
- ・ 脳いきいき健康講座の実施（27団体、約600名）
- ・ 射水市医師会ホームページ「認知症サポートナビ」開設

(2) 医療機関や関係機関への周知

- ・ チラシ「認知症初期集中支援チームがサポートします」の配布を継続

2 認知症初期集中支援チーム員の研修等

(1) 認知症初期集中支援チーム全体会議

月日	会場	出席者	内容等
H30年6月12日（火） 19:30～21:00	射水市役所 305会議室	認知症サポート 医5名 認知症地域支援 推進員5名 地域包括支援セ ンター職員5名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度チーム実績報告 ・ チームの活動に関する課題の検討 ・ 支援の終了について ・ 平成30年度事業計画 ・ 事例検討

(2) 認知症地域支援推進員の研修

月日	会場	出席者	内容等
毎月第2金曜日 認知症地域支援推進 員部会	射水市役所 会議室	認知症地域支援 推進員5名 地域包括支援セ ンター職員 3～5名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の事例検討 ・ チームの活動に関する課題の検討 ・ 認知症の普及啓発等についての検討
H30年9月6日～7日	石川県金沢市 金沢ニュー グランドホテル	地域包括支援セ ンター職員2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症地域支援推進員 新任者研修

3 認知症に関する相談状況

(1) 地域包括支援センターへの認知症に関する相談件数

	29年度 (H29.4月～H30.3月末)		30年度 (H30.4月～H30.8月末)	
	実人数	延件数	実人数	延件数
新湊西地域包括支援センター	58人	268件	26人	106件
新湊東地域包括支援センター	71人	231件	19人	91件
小杉下地域包括支援センター	88人	206件	32人	157件
小杉南地域包括支援センター	56人	131件	16人	115件
大門大島地域包括支援センター	93人	296件	33人	147件
計	366人	1,132件	126人	616件

(2) 地域福祉課への認知症に関する相談件数

	29年度 (H29.6月～30.3月末)		30年度 (H30.4月～9月末)	
	実人数	延件数	実人数	延件数
地域包括支援センター等から	32人	44件	22人	31件
住民から	23人	23件	13人	13件
計	55人	67件	35人	44件

4 認知症初期集中支援チームの支援状況

(1) 認知症初期集中支援チームへの相談後の支援状況 (H30.9月末現在)

	チームへの相談数	チーム支援対象者	チーム支援継続者	初回訪問のみ実施	チーム支援対象外
29年度 (H29.6月～30.3月末)	16人	※10人	7人	3人	6人
30年度 (H30.4月～9月末)	10人	3人	1人	2人	7人

(2) 認知症初期集中支援チーム支援継続者の支援状況 (H30.9月末現在)

	支援継続者	支援終了者	支援者
29年度 (H29.6月～30.3月末)	7人	※6人	1人
30年度 (H30.4月～9月末)	1人	0人	1人

※29年度のチーム支援対象者10人及び支援終了者6人の支援状況について別紙1参照

5 認知症初期集中支援チームの活動に関する課題と対応

認知症初期集中支援チーム全体会議での検討内容 (H30. 6. 12)			その後の対応 (H30. 9月末まで)
	課題	今後の方向性	
対象者について	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の相談者が少ない。 ・包括から相談のタイミングがわからないとの訴えあり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困難ケースに限らず、医療や介護へ繋がりたい、認知症サポート医へ相談したいケースを挙げてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括よりチームへの相談は9件あったが、包括で対応できる状況であったため、新規で支援継続者となる者はいなかった。 ・認知症地域支援推進員部会で具体的な支援対象者像について検討し、ケアマネジャーへ再度事業周知を実施している。
支援全般について	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が長引き、6か月で終われないケースがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初回のチーム員会議で、6か月後の目標を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画票（別紙2）に、6か月後の目標の記入欄を追加した。 ・初回チーム員会議において、チーム員が目標を共有し、支援を実施している。 ・支援期間が6か月以上のケースについても、チーム員会議で目標を明確にし支援を実施している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・チームが支援したことによる評価がわかりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6か月後の目標が達成できたか、認知症アセスメントが介入前後で変化したか等について確認、評価していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画票（別紙2）に認知症アセスメントの記入欄を設け、一覧でわかるようにした。 ・医療や介護サービスに繋がったどうかを確認、評価していく。（別紙1）
支援ケースについて	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症治療や介護サービスに繋がらないケースがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症地域支援推進員部会で、支援終了ケースの振り返りや勉強会を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の認知症地域支援推進員部会で、認知症の事例検討を実施、資質の向上を図っている。

平成29年度 認知症初期集中支援チーム 支援対象者の支援状況

別紙 1

(H30.9月末まで)

1 支援対象者 (N=10) の属性

(1) 年齢内訳

71歳～74歳	3人
75歳～79歳	4人
80歳～84歳	2人
85歳以上	1人

(2) 性別

男	2人
女	8人

(3) 世帯状況

独居	4人
息子との二人暮らし	3人
息子家族との複合家族	3人

(4) 介入時の介護度

要介護1	6人
未申請	3人
申請期限切れ	1人

(5) 介入時の認知症高齢者の日常生活自立度

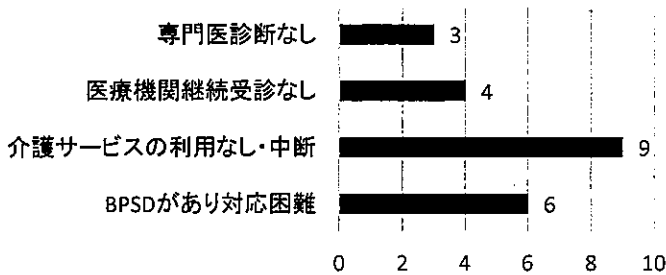
Ⅱb	6人
Ⅲa	4人

2 相談者の内訳

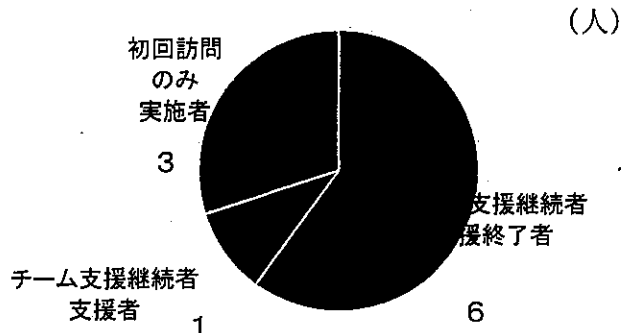
包括	10人
家族	1人

* 相談者1人は包括・家族の両方から相談あり

3 介入時の相談内容 (複数回答) (人)



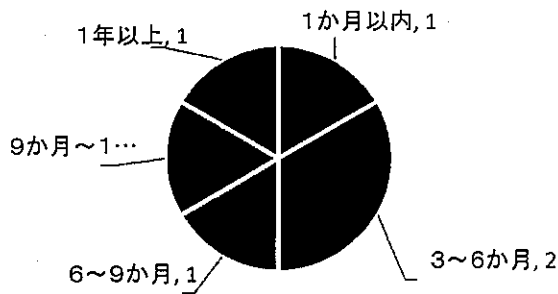
4 支援対象者の支援状況内訳



・10人中3人は初回訪問のみ実施し、継続支援は実施していない。
 ・継続支援をしない理由は、医療・介護に繋がった1人、施設等の入所に繋がった2人であった。

5 支援終了者 (N=6) の状況

(1) 支援終了までの期間



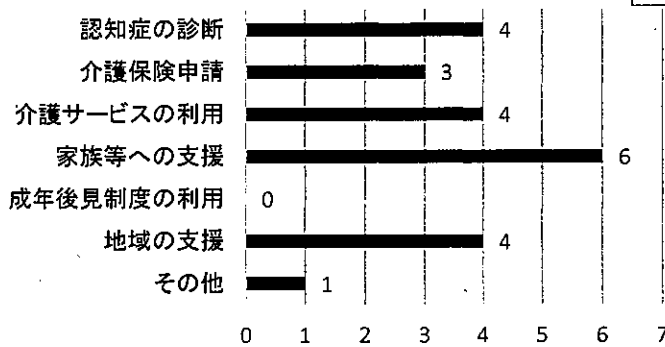
・支援終了までの期間が、6か月以内の者は3人で、6か月以上が3人であった。

(2) チーム員会議の実施回数

1回	1人
2回	2人
3回	3人

・会議数が1回であった者は、初回会議後すぐに入院となり、終了前の会議をしなかった。
 ・それ以外の5人については、初回訪問後と終了前の会議を含め2回以上会議を実施している。

(3) 支援の成果 (複数回答) (人)



(4) 介入後の状況

入院	1人
施設入所	1人
在宅療養	4人

(5) チームの介入効果

			介入前	介入後
医療	かかりつけ医	あり	4人	5人
		なし	2人	1人
	認知症専門医	あり	1人	5人
		なし	5人	1人
介護	介護認定	あり	3人	6人
		なし	3人	0人
	介護サービス利用	あり	1人	5人
		なし	5人	1人

・終了者6人中、医療や介護サービス利用に繋がったケースが5人ずつであった。
 ・医療・介護サービス利用に繋がらなかった1人は、親族が毎日訪問し支援を実施している。